

道徳通信

能美市立辰口中学校 平成28年 11月24日(木) NO. 8



11月の心のテーマ『役割と責任』

11月も下旬に差しかかりました。2学期の二大行事を終え、各学年とも、行事で学んだことを学習や部活動にうまくつなげていった月でした。来週には期末テストがあります。そしてテストが終われば、12月。12月は「師走」というように、あっという間に毎日が過ぎていきます。慌ただしく過ぎていく毎日ですが、1日1日を大切に、有意義な日々を過ごしていきましょう。

さて、今回の道徳通信では、10月27日に行われた「第50回全日本中学校道徳教育研究大会」の授業内容をご紹介します。PTA 役員をはじめとする保護者皆様方にもご協力いただき、本当にありがとうございました。



全日本中学校道徳教育研究大会 ～1年生編～

1組・2組「あたらしい九谷焼」

◎失敗や困難に負けず、なぜ30年も九谷焼を作り続けてこられたらうか。

- ・祖父が生涯をかけて九谷焼を作っていたから自分も生涯をかけて作ってみたい。
- ・絶対に成功してやるという強い気持ちがあったから。
- ・亡くなった祖父のために、ここで終わってはいけなかったから。
- ・自分で決心したことだから、途中でやめることなんてできないし、もしやめてしまっていたら、亡くなった祖父が悲しむと思うから。
- ・徳田家の色を伝えていきたいと思ったから（伝統を受け継ぐ）。
- ・目標があったから（世界に通用する作品を作る）。



☆今日の授業で感じたこと（1組）

今日の授業で南さんが入選しても楽ではないと言っていて、すごく悩んだりして、その結果、今までのいい作品ができたんだと思いました。苦勞の先にうれしさがあると思いました。

夢は叶^{かな}うものじゃなくて、長い時間をかけて努力しないと叶わないんだと思いました。

一番印象に残ったのは、南さんの話の中で「自分の目標を成功してからのほうが大変です」と言っていて、私はいつも成功したら終わりだけど、そこで終わらずに、次の目標に向かって進み続けることが大切だと思いました。

全国でも上を目指すという心であったり、自分の中の最高の作品をつくることは自分を絞り出すようなことだと思います。つらい中でも最高のものをつくる心は素晴らしいと思いました。

今日の授業を通して伝統ある九谷焼を大きな壁にぶつかっても作り続けて来た徳田さん八十吉さんとお父さんの言葉で九谷焼を続けた南絢子さんはすごいなと思いました。夢に向かってあきらめずに頑張ることは難しいことだと思います。私もあきらめずに夢に向かって何度も挑戦し続けたいなと思いました。

南さんのお話を部活動の大会と照らし合わせながら聞いていましたが、とても似ているなと思いました。南さんが言っていた「30人に入る」「前向きに思う」ということを心に頭において、大会などで失敗しても前向きに考えて頑張りたいなと思いました。

ゲストティーチャーとして地元で九谷焼の製作をしている南絢子さん(南陶房)に来ていただきました。



◎自分たちができることは何だろうか。(2組)

私は伝統や文化などにかかわることはあまりないけど、伝統や文化を知っていくことで作っている人に貢献できると思う。

体験会などがあれば参加して九谷焼、金箔のことについてもっと知る。

みんながよく集まるところに九谷焼などの伝統のものを置いて興味を持ってもらう。

知らない人に教えてあげて魅力があるということを知らせて、作る人に途絶えてはいけないという気持ちにさせる。

自分の住んでいる地域などを愛し、違う地域の人に魅力を伝える。

日本の伝統や文化に興味を持つことが大切だと思います。興味を持たなければ、知ろうすることもできないし、自分から知ろうとしないと、まわりに伝えることもできないと思うからです。

自分の国などの文化をととても大切にしたりすることが自分にできることです。

詳しく知ったり、興味が少しでもあったら、調べてみたり、その地域に実際行ってみたり、地域の素晴らしさや、作るのを実際体験してみたり…。これをみんなに伝えて、その地域の素晴らしさや実際に行ってみると違う、ということを実感させる。



3組・4組・5組「カーテンの向こう」

<資料のあらすじ>

暗い病室に重症患者が身動きできない状況で、単調な毎日を送っている。ただ死を待つだけの中、唯一窓際にいるヤコブが話してくれる外の世界が患者たちの生きが이었다。主人公の「私」もその一人だった。しかし、最初はヤコブの話を生きる希望としていたものの、いつかヤコブにだけ与えられた環境に対して不満を持つようになった。そんな中、ヤコブが死んでしまう。そして、ヤコブの次に長く病室にいる「私」がヤコブの場所に移動することになる。ヤコブと同じ環境を与えられた「私」の目にうつった景色とは…。なんと冷たいレンガの壁だった。

<授業の中で考えたこと>

◎「冷たいレンガの壁」の衝撃のあと、「私」は何を思ったのだろうか。(4組)

- ★次は自分がみんなに外の景色を伝える番か?どんなことを話そうか…明るくしたいが話せるか心配。
- ★本当のことを知った自分はこれからどうすべきか悩むと思う。
- ★ヤコブの嘘に気づいた「私」はヤコブのように話そうか、何も話さないでおこうかって悩んだと思った。
- ★もし自分がヤコブの代役として生きていくとしても自分にはそんなことできるのかわからない。

◎授業で学んだこと、感じたこと

～ヤコブへ、理解と感謝～

- ★ヤコブはみんなと楽しい時間を過ごしたいと思っていたのか。←ヤコブ自身もみんなと楽しんでたのかも?
- ★ヤコブには何の得にもならないことなのに…。←みんなが喜ぶことが喜びだったのかも?
- ★全然うらやましがることではなかった。見えもしない外の様子をずっと伝えていたんだ。
- ★ヤコブ自身が考えてくれていたことだとわかり楽しませるために話をしてくれていたことに感謝した。
- ★苦しいのに絞り出すような声で空気を明るくしようとしたヤコブに謝りたい。生きていれば謝れたのに。



～自分の醜さをぎんげ～

- ★「生きる」ことについて考えさせられました。人と睦まじく仲良く生きていきたいです。人は強みもあって弱みもあるからこそ生きがいが学べて楽しく生きられるのだと思う。
- ★自分の欲望が人の命よりも大切になってしまうことは絶対にだめだと思いました。ひどいことを考えてしまうこともあるだろうけれど。うらやましくても…
- ★他の人がしてきたことを自分もできるかどうか心配で、背負う重みがあるからこれからは不安になることはみんなにあると思います。



◎今の「私」ならヤコブにどんなことを言うのでしょうか。(3組)

今までずっと、みんなのために自分を犠牲にしてまで希望をくれてありがとう。これからは「私」が希望を届けるから安心して下さい。

君が一番つらい役をしていたことを欲望の果てに分かりました。僕の考えていたカーテンとは違う「偽りのカーテン」を守りたいです。

ヤコブの優しい心づかいで、みんなの生きる希望を持たせてくれてありがとうございます。私はヤコブだけずいと思っていた自分が情けないです。そんなことを思ってしまったごめんなさい。

今まで一人でかかえこませていてごめんなさい。ヤコブのおかげですごく楽しい思いをすることができました。私は今、窓の近くのベッドになりました。私もヤコブのようにみんなを楽しませていきたいです。

◎授業で学んだこと、感じたこと



- 「よりよく生きる道を探し続けることが最高の人生を生きることだ」と分かった。自分もそのような人生を歩むことができるといいと思った。
- ヤコブの優しさに気づけなかった私が許せない気持ちでいっぱいになったと思うけど、次は私がみんなのためにという気持ちになったと思います。
- 「私」が死んでしまえばいいと思うことはふつうだけど、ヤコブの優しさに気づいたとき、どう思ったかが大事だと思いました。

◎ヤコブがずっと嘘をつき続けていたのはどうしてでしょう。(5組)

お見舞いも何も来てくれなくて、みんな落ち込んでいたから外の景色を伝えて少しでも元気を与えようとしたから。

次、このベッドになる人に、この景色はないけど、想像でしゃべってもらいたいから。

自分が最初に見た時はヤコブもショックだったと思うし、ヤコブは薄暗くて重苦しさをなんとか少しだけでも明るくできればな~と思っていたと思うから。

みんなを楽しませるため

◎今日の授業で感じたことや学んだことは何ですか。

- ❖本当に自分が苦しかったら、他人のことは気にできないのにヤコブさんはみんなを楽しませるために嘘をついたからすごいと思った。
- ❖ヤコブさんは、きっとみんなの悲しむ姿が見たくなかったから頑張って話を続けていた。「私」はこれからどうしようと思う気持ちだったと思う。
- ❖最初は一人だけ窓の外を見て他の人に見せないのはひどいことだと思っていたけど、窓の外が見えた瞬間にヤコブはすごく人想いで、自分の優しさも隠すとてもいい人だと思いました。人の優しさは自分の気づかない所にたくさんあるのかも知れないと思いました。
- ❖みんなの期待を裏切りたくないというヤコブさんの気持ちにとっても感動しました。
- ❖自分も苦しいのに立場を悪くしてまでみんなを楽しませてあげるやさしさがすごいと思います。
- ❖ヤコブは一番長く病室にいたから、みんなを楽しませるために、すごく苦労したと思う。

授業形態にも一工夫！
机を教卓の方に向けて
話を聞きます！！



恨まれることを厭わず(もしかしたら悩んでいたかも…。 “話したがらなかった”ときもあったね)語り続けたヤコブ。自分の醜さを突き付けられ、ヤコブの偉大さに圧倒されながら悩む「私」。よりよく生きようという思いが根底にあるからこそその悩みです。自分の弱さと向き合っ、もがきながらもよりよく生きていこうとするのは人間らしい、すてきなことだと思えます。

あかまつ2組・3組「裏庭でのできごと」



登場人物が多いですが、それぞれの気持ちを順番に考えてみました。



実生活に置き換えると…？
自分の考えを発表しています。



〈授業を参観された方々の感想〉 (授業整理会のコメントより)

ゲスト・ティーチャー (南 絢子氏) より
いつも自宅にいるので、どれくらいの表現をすれば生徒に伝わるか分からないけど、道半ばの自分が、13年続けてきて、「やって良かった」と思えることが多くなったので、そのことを伝えようと考えて授業にのぞみました。

資料を文章順に心情を追うのではなく、生徒の「印象に残ったこと」を拾っていきながら中心発問に迫っていくやり方が新鮮だった。

辰口中学校の道徳授業からは、
学校全体で組織的に授業をしている雰囲気が伺われた。



〈1年生〉とってもいい表情で発表をしています！！



次号も引き続き、全日中の道徳授業(2・3年)の様子をご紹介します。